

# カルボナード島越駅

〔下〕 下関伊郡田野畑村松前沢 1-20

☎ 0194-33-2115

## 歴史 (成り立ち)

三陸鉄道北リアス線の島越駅は、宮沢賢治の『グスコーブドリの伝記』に出てくる火山島にちなんだ「カルボナード」という愛称がついていて、メルヘンチックな青屋根の外観が人気の駅舎だった。

かつては近くの島越港からは、北山崎の断崖を巡る大型観光船が頻繁に発着しており、三陸鉄道を利用する乗船客等で大変賑わった。高架になる駅舎の2階には目の前の島越海水浴場のためのシャワーや喫茶室等の施設もあり、多くの観光客や鉄道ファンに親しまれていた。

絶好のロケーションにあるオシャレな南欧風の独特な駅舎として、平成14年(2002)に東北の駅百選にも選ばれていた。

## 震災に まつわる物語

東日本大震災の大津波で、自慢の駅舎も高架になっていた線路もすべて流失してしまい、駅前広場にあった宮沢賢治の詩碑「発動機船 二」とホームへ

上がる階段の下部9段のみが残された。

三陸鉄道北リアス線の中で最も復旧工事に時間がかかった場所で、震災から3年後の平成26年(2014年)4月に運行を再開することができた。

新しい駅舎は、再度津波の被害を受けないよう北側へ少し移動したかさ上げ盛土の上に再建。旧駅舎の特徴であった八角形の塔屋が復元され、復興のシンボルとして再び人気を集めている。

震災当時の旧駅舎跡地には、津波に耐えた宮沢賢治の詩碑が、被災当時の姿でたたずんでいる。



旧駅舎の面影を残すモダンな島越駅舎

## TOPICS

### 見る ① 震災遺構 明戸海岸防潮堤

津波によって決壊した防潮堤が、被災当時の姿のまま保存されている。見学路や、被災前後や決壊の瞬間の写真を使った解説板が整備され、津波の破壊力と当時の惨状が体感できる。次世代への震災体験の伝承や、住民や観光客の防災意識の高揚に、その活用が期待される。



☎ 下閉伊郡田野畑村明戸 214  
☎ 0194-33-3248 (田野畑村観光案内所) [P] 20 台

### 食べる ② 北川食堂

国道 45 号線沿いにありアクセス良好。地産の新鮮な海産物を使ったボリューム満点&格安の海鮮丼が人気。地元の人にも足しげく通うお店は、季節の食材を使った月替わり等豊富なメニューで、いつ行っても新しい発見がある。お昼時には店前の別棟でお弁当も販売。震災当時、停電により営業は停止したが、店内の大きな薪ストーブが被災者を温めた。



☎ 下閉伊郡田野畑村和野 260-13 ☎ 0194-34-2251 [P] 30 台  
営業 11:00 ~ 22:00 (LO20:50) 休 月曜 木曜 14:00 ~ 17:00

### 食べる ③ 鯛寿し

村内唯一の寿司店。新鮮な三陸のネタで寿司や刺身を楽しむ。家族経営ならではのアットホームな対応が居心地の良い。事前予約で弁当も注文でき、配達もしてくれる。ご息女が営む菓子店の商品も扱っており、帰り際、家族への手土産にと購入する客も多い。



☎ 下閉伊郡田野畑村和野 258-8  
☎ 0194-34-2702 [P] 5 台  
営業 17:00 ~ 22:00 (昼は要予約) 休 不定休

### 遊ぶ ④ 北山崎断崖クルーズ観光船

三陸ジオパークのジオサイトである北山崎断崖を、海上から満喫できる。白亜紀の地層は震災前と変わらぬ迫力で、1 周約 50 分の周遊中にはウミネコやカモメへの餌付けも楽しめる。



東日本大震災の際には島越港が壊滅的な被害を受け、運休を余儀なくされた。平成 26 年 7 月、スマートなフォルムの 92 人乗りの新たな船で運航を再開。

☎ 下閉伊郡田野畑村島越 104-2  
☎ 0194-33-2113  
[P] 30 台 営業 4 月中旬 ~ 11 月上旬 臨時便：年末年始・お盆など  
大人 1,460 円 小人 730 円



### 遊ぶ ⑤ たのはたジオパークガイド

三陸ジオパークのジオサイトを住民ガイドが案内。露頭した一億年前の白亜紀の地層や大昔の津波の痕跡、サンゴの化石を見ることが。独特の断崖地形の成り立ちや、地域特有の生態系に付随する営みなどを詳しく解説。宮沢賢治も訪れ、彼の作品に活かされた地に立ち、悠久の年月の流れと地球の躍動を感じてほしい。



☎ 下閉伊郡田野畑村机 142-3 ☎ 0194-37-1211 (NPO 体験村・たのはたネットワーク) [P] 10 台  
☎ 1 名 3,000 円 (2 名より、1 名のみ 6,000 円) / 団体 ガイド 1 人当り 10,000 円 (15 名まで)

### 遊ぶ ⑥ たのはた大津波語り部

東日本大震災の体験を被災住民自ら現地ガイド。大津波により、長年暮らした土地は壊滅的な被害を受けた。しかし、語り継がれてきた教訓は正しかったと、生き残った住民は身をもって知った。この教訓を「今度は我々が語り継ぐ番」と、それが全国から寄せられた「支援と絆に伝えること」と日々活動している。



☎ 下閉伊郡田野畑村机 142-3 ☎ 0194-37-1211 (NPO 体験村・たのはたネットワーク) [P] 20 台  
☎ 1 名 1,500 円 ~ 2,500 円 (1 名のみ 5,000 円) / 団体 ガイド 1 人当り 15,000 円 (15 名まで)

# DATA BANK

料金・施設などのデータは、2017年3月現在のものです。

## 泊

|   | 名称              | ひとこと コメント                                                 | インフォメーション                                                                                                    |
|---|-----------------|-----------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 7 | らがそう<br>ホテル羅賀荘  | 海沿いに立つオーシャンビューが自慢のホテル。新鮮な海産物の夕食や朝食バイキングが人気                | ☎ 下閉伊郡田野畑村羅賀 60-1<br>☎ 0194-33-2611 [P] 70台 [Y] 1泊<br>2食 大人1名 8,500円〜/ビジネスプラン 大人1名 5,740円〜/素泊まり 大人1名 5,277円〜 |
| 8 | ほんけりまかん<br>本家旅館 | 平井賀漁港を見下ろす高台に位置し、地魚どんこを使ったボリューム満点の食事が自慢。作家吉村昭や妻津村節子も定宿とした | ☎ 下閉伊郡田野畑村羅賀 3<br>☎ 0194-33-2411<br>[P] 5台<br>[Y] 1泊 2食大人1人 7560円〜                                           |



## 見る

|    | 名称                                  | ひとこと コメント                                                                                      | インフォメーション                                          |
|----|-------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| 9  | かいびん<br>ハイベ海岸                       | 昭和41年、岩手県天然記念物に指定された、古生物学的・地質学的に非常に貴重な小さな浜辺                                                    | ☎ 下閉伊郡田野畑村和野<br>☎ 0194-33-3248 (田野畑村観光案内所) [P] 5台  |
| 10 | カンパネラ<br>のほたてまき<br>田野畑駅             | 宮沢賢治の童話『銀河鉄道の夜』の登場人物から名をとった、東北の駅百選のひとつ                                                         | ☎ 下閉伊郡田野畑村和野 38-14<br>☎ 0194-33-2112 [P] 10台       |
| 11 | みやざけんじし<br>宮沢賢治詩碑<br>ひさしいどう<br>被災遺構 | 東日本大震災の大津波に耐え、流失しなかった詩碑。宮沢賢治がこの地を訪れた際に作った詩3部作の一部が記されている                                        | ☎ 下閉伊郡田野畑村島越<br>☎ 0194-33-2115 (カルボナード島越駅) [P] 30台 |
| 12 | ら が つなみいし<br>羅賀の津波石                 | 海岸から250m、標高28m地点にある重さ約20tの石。地元の言い伝えや海岸線にある白亜紀の地層と同じ、オルビトリナという有孔虫の化石を含むことから、もともと海岸にあった石と証明されている | ☎ 下閉伊郡田野畑村羅賀<br>☎ 0194-33-3248 (田野畑村観光案内所) [P] なし  |
| 13 | かいびん<br>ひらなめ海岸                      | 白亜紀の地層が海岸線から海の中へ、ダイナミックに斜めに入り込んでいる様が見られる                                                       | ☎ 下閉伊郡田野畑村羅賀<br>☎ 0194-33-3248 (田野畑村観光案内所) [P] 3台  |

## 人

| 人 名              | ひとこと コメント                                                                                                                                        |
|------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| よしむら あきら<br>吉村 昭 | 東京・日暮里生まれの小説家。創作活動に苦しみを抱えていた若かりし頃、友人の勧めで田野畑村を訪れた。村の断崖からの景色にインスピレーションを受け、創作した『星への旅』が太宰治賞を受賞。以後、『三陸海岸大津波』、『幕府軍艦「回天」始末』、『梅の蕾』など、田野畑村に関係する作品を数多く発表した |
| みやざけんじ<br>宮澤賢治   | 昔、平井賀漁港から宮古をつなぐ「羅賀丸」という大型の船に乗った賢治が、船から田野畑村の地層を見て、作品「樺ノ木大学士の野宿」が生まれた。また⑪で紹介した「発動機船」は羅賀丸からの情景を書き留めたもの                                              |

田野畑っ子  
ご推せん

ウォーキング  
コース

津波の甚大な被害から美しく立ち直った島越駅をスタートし、旧駅舎があった場所に今も立つ宮沢賢治の歌碑等を見学。途中のハイベ海岸では特殊な地形を作り上げた1億年前の白亜紀の地層を見学し、悠久の地球の息吹に思いを巡らせて。

コース A

三陸鉄道島越駅 — 0.4km・5分 — 宮沢賢治詩碑被災遺構 — 2.2km・30分 — ハイベ海岸 — 1.0km・20分 — 三陸鉄道田野畑駅

